

間取り図原稿のご入稿前に必ずお読みください

間取り図の原稿は、必ずスキャニングしたものをお送りください。
あわせて以下の「チェック項目」をご確認ください。

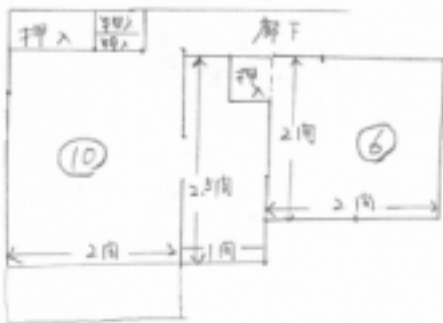
～原稿ご入稿時のチェック項目～

- ✓ 部屋名や畳数が明記されている
- ✓ 各種パーツがはっきり描かれている
- ✓ 外壁や窓やバルコニーの線が鮮明

読み取れないケース

以下のような原稿をお送りいただいた場合、制作することができません。
再入稿が必要となりますので、ご注意ください。

NG原稿①手書き

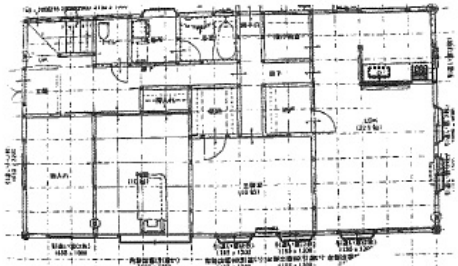


こちらの間取り図は手書きで書かれており、
線が曲がっています。

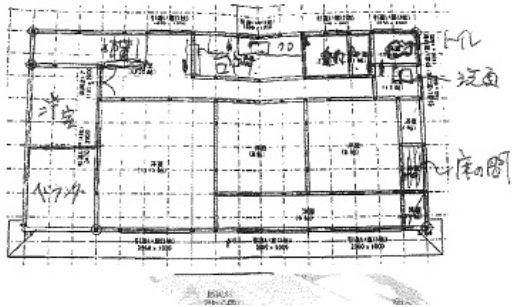
壁なのか窓なのかドアなのか境目も
形状がよくわからないため、
制作することができません。



NG原稿②カメラで撮影している



1階部分は、平成〇〇年〇月キッチン新規設置、リビング・居室新設、浴室・トイレ新規交換済

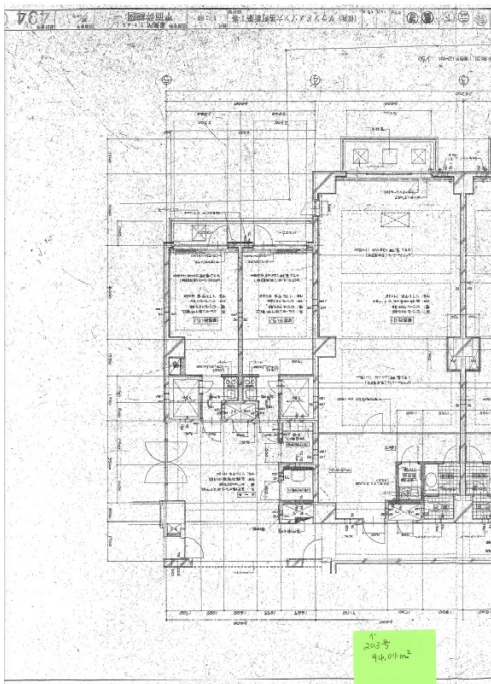


原稿をスマホなどの写メでとり、そちらを入稿される方がいらっしゃいますがご覧のとおり、歪んでいます。

原稿を下敷きにしてトレースする際にこの歪みは致命的となります。

解像度が荒く、掠れていたり歪んでいたりは基本的には差し戻しになりますのでご注意ください。

NG原稿③全体的に薄い



こちらは、なんと文字がかかっているかわかりません。

このような場合は、部屋の名称、帖数など、赤字で補記して頂いたものを再入稿いただいております。

NG原稿④線や文字が見えない

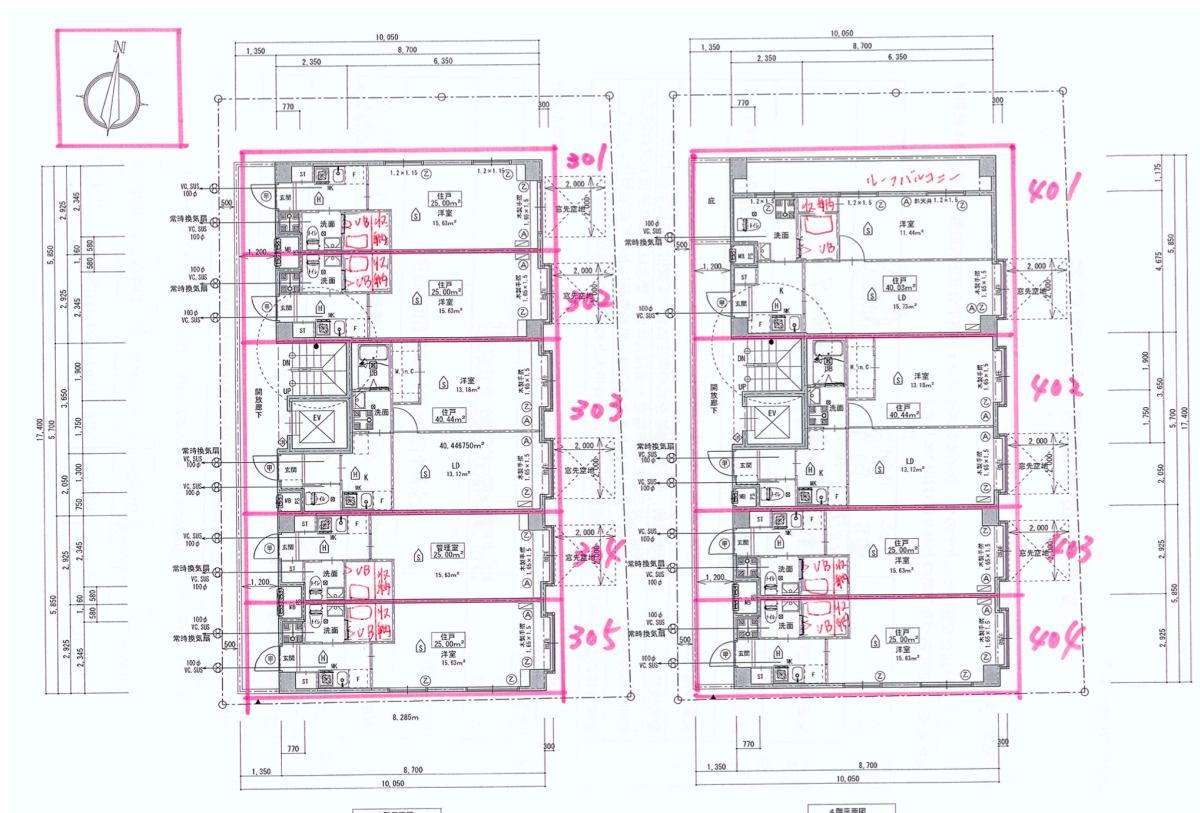


文字や細かなところがかかり読み取りがきついです。

注意が必要なケース（マンションの場合）

マンションの平面図をお送りいただく場合は、
フロア全体の制作か、一部の居室の制作か、
下記のように、制作のご希望箇所を赤字でご指示ください。

<見本>



以上、読み取りが難しく、再入稿が必要な、NG原稿の事例と、
注意が必要なマンションの事例をご紹介いたしました。

スムーズな制作の参考になれば幸いです。

株式会社シーブリッジ
間取り図制作チーム